

1 題材設定の理由

活動内容・項目

主たる内容・項目

学級や学校の生活の充実と向上に関すること
学級や学校における生活上の諸問題の解決

関連する内容・項目

- ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること
自己及び他者の個性の理解と尊重
望ましい人間関係の確立

題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

中学2年生の進級時には、概ね「クラス替え」が行われる。新たな学級集団として組織された生徒たちの中には、メンバーや担任教師が替わり、期待とともに不安な気持ちを抱えている者もいる。新しい学級(学年)にうまく適応できずに、問題行動を引き起こす生徒もいる。この時期(4月当初)に学級集団に馴染み、安心感をもって生活できるよう、生徒同士や生徒と教師が「出会う」場面を計画的に設定し、人間関係を円滑に結ぶことができるよう支援していくことが必要である。進級後できるだけ早期に「学級(学年)開き」の時間を設定し、体験活動を通して相互理解を促進しながら集団としての一体感を味わわせたい。

指導法・指導上の留意点

プロジェクト・アドベンチャー(1)や構成的グループ・エンカウンター(1)の理論と手法を用いながら、体験活動を通して生徒同士が互いを知る場とする。他者に対する思いやりと心配りの気持ちがもてるように配慮する。

「学級(学年)開き」は、生徒同士の出会いの場であるとともに、生徒と担任教師との出会いの場でもある。プロジェクト・アドベンチャーの手法を用いた活動を通して、担任としての思いや願いを伝え、学級づくりのスタートにしたい。

- 1 仲間と協力して様々な課題を解決しながら、他者を信頼し、思いやる心を育てる体験学習法。「学校内で様々な体験活動が行えること、グループ活動が中心にあること、信頼関係づくりプログラムであること」を基盤とする。プログラムを通してチームワーク、目標設定、問題解決、自己への気付き、他者理解、ストレスへの対処など体験を通して学ぶことができる。

2 指導目標

生徒同士が互いに知り合い、尊重し合う活動を通して、学級内の人間関係が円滑に結ばれるきっかけとする。

学級担任の思いや願いを知ることにより、新しい学級での生活に安心感と期待をもち、今後の学級(学校)生活に見通しがもてるようにする。

3 指導計画

事前・事後指導

事前指導 - 短学活; 本時のねらいと活動の概要を予告し、意欲付けをする。

《本時》 - 学級活動; 授業「新たな学年を迎えて」(学級開き)を実施する。

事後指導 - 短学活; 「振り返りカード」の感想を学級通信で紹介するなど、今後の学級づくりに生かす。

教科指導等との関連

各教科のオリエンテーションに「アインシュタインの言葉並べ」等を活用し、教科学習のねらいや約束事を確認する。

4 指導案

指導過程

本時のねらい	級友との出会いを大切にして望ましい関係づくりをスタートすることができる。 学級担任の思い(願い)を知り、今後の学級生活に見通しをもつことができる。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 学級担任から本時のねらいと進め方について話を聞く。	本時が、「心と心のふれあい」の時間となるよう、学級開きへの担任の思いを伝える。	【評価1】
展開 (35分)	2 演習を行う。 「バースデイ・チェーン」 男女混合で誕生日順(1月~12月)に一つの輪になる。 確かめ終了後5~7人ずつのグループを作る。 「ネーム・トス」 グループ毎に輪を作り、呼ばれたい名前を伝え合う。 ボールをトスしながら自己紹介をする。「 です。」 相手の名前を言ってボールをトスする。「 さん、 です。」 受け取った人は、「 さん、ありがとうございます。」さらに別の人に「 さん、 です」と言ってボールをトスする。 「サインをもらおう」 2人組で自己紹介をする。 互いに相手が話した内容をワークシートに書き、相手からサインをもらう。 相手を替え、 を行う。 「インシュタインのことは並び替える」 学級担任の願いや座右の銘を記したカード(順不同)を並び替える。 担任の話聞く。	無言で行い、指で伝え合ってもよいことを伝える。確かめでは、間違っていることを笑ったり、冷やかしたりしないように留意する。 呼ばれたい名前は、本名でもニックネームでもよい。 担任がモデリングをする。(ボールは下からそっと投げる) 次のことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名前を呼ぶ時はふざけたり嫌がることを言ったりしない ・ 相手の名前がまだわからないときは自分から「 です」と名乗ってボールをトスする ・ 同じ人にトスが偏らないようにする </div> 自己紹介の仕方を提示する。 「 です。 と呼んでください。趣味(特技)は・・・です。よろしくお願いします。」 下線部は、アレンジしてよい。 設定した時間内に並び替えることができなかった場合は、真剣に取り組んでいた姿や互いに協力し合っていた様子について賞賛の言葉かけをする。 カードを黒板に掲示する。	【評価2】 【評価2】 柔らかなボール(軟式テニスボール等)グループ分 【評価2】 ワークシート 【評価3】 カード(1組) 1枚のカードに1字とし、15~20字程度の言葉とする
まとめ (10分)	3 振り返りカードに本時の授業で考えたこと、感じたことを記入する。	記入時の様子や内容をもとに、アフターケアの必要な生徒がいらないか把握する。 何人かの生徒に本時の感想を聞く。生徒を温かく受け入れる雰囲気づくりを行う。	【評価3】 振り返りカード

評価計画(評価の観点)

評価1	関心・意欲	本時のねらいと進め方を知り、意欲的に取り組もうとしているか。
評価2	表現・技術	自己表現の演習を通して、新たな友人関係づくりのきっかけができたか。
評価3	思考・判断	学級生活や友人関係に希望をもち、進んで取り組もうとしているか。

5 プログラムの展開例

活動場所 体育館（教室）

準備物 柔らかなボール、ワークシート、教師の思いを記したカード、振り返りカード

導入（5分）

- 1 本時のねらいを理解する。

この時間は、出会いの時間です。
初めて話をする友達もいて、ちょっぴり恥ずかしいかもしれませんが、互いを知り合うきっかけにして欲しいと思います。



展開（35分）

- 2 演習を行う。

「バースデイ・チェーン」

* 無言で、誕生日順に一つの輪になります。



指を使って伝えている場面
真剣に取り組む生徒たち



確かめの場面
ちょっぴり不安そうな表情の生徒たち

「ネーム・トス」

* ボールを使って、互いに呼ばれたい名前を呼び合う活動です。



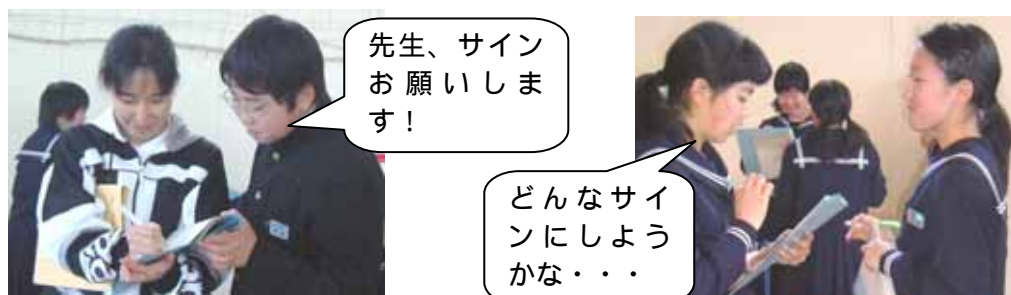
ボールをキャッチする生徒



打ち解けた雰囲気の中で取り組む生徒たち

「サインをもらおう」

* 自己紹介後、互いにかかわりをもった証としてサインをします。



「アインシュタインのことは並び替える」

* 担任の思いや願いを記したカード（順不同）を並び替えます。



担任の思いや願いが記されたカードを並べ終えた生徒たち
「先生らしい言葉だなあ」と納得顔の生徒、「えっ、先生って意外
にロマンチスト！」と新たな一面を発見する生徒。「これからいろ
んなことがあると思うけど、みんな心を一つにして、・・・な学級
を作っていきますよ。」と学級担任。



まとめ（10分）

3 振り返りカードに記入する。

6 生徒の反応（「振り返りカード」等から）

級友との出会い・関係づくりに関するもの

- ・ 多くの人と話す機会ができてよかった。クラスメートの名前を覚えるのに役立った。
- ・ 話をしたことがなかった人と話ができよかった。まだ、名前を覚えていない人もいるので、これからもこういう活動をもっとやりたいと思った。
- ・ 結構楽しかった。いろんな人の呼んでもらいたい名前がわかってよかった。
- ・ すごく楽しかった。改めてクラスの名前などを確認できた。
- ・ グループ以外の人とあまり話をするのができなかった。次回からチャレンジ精神でがんばりたい。

学級担任の思い（願い）・今後の学級生活に関するもの

- ・ 先生の思いが伝わってきた。先生らしい言葉だなと思った。
- ・ どんな学級になっていくのかなと想像してみた。まとまりのあるクラスにしたいなと思った。

7 授業者の感想（授業改善の視点から）

授業全般について

- ・ 直接協力校で授業を実施した各担任からは、「クラス替えにより級友の名前さえ知らず、不安をもって生活している生徒もいるので、緊張感を和らげるのに役立った」「楽しいゲーム感覚で自己紹介ができたため、今後の関係づくりに大いに役立つと思う」「2年生として新たな希望を抱き、一層充実した中学校生活を送ろうとする心構えをもたせる機会となった」等の感想が聞かれた。
- ・ 間接協力員からは「ネーム・トスを行ったことで、呼び名を全員が理解することができ、その後の人間関係に大変役立っている」「振り返りカードには、またやりたい、いいクラスになりそう、友達の呼び方がわかってよかった、仲良くしたい、など肯定的な意見がたくさん書かれており、学級としてよいスタートが切れた」「とても和やかな明るい雰囲気、生き生きと活動していた。生徒の笑顔がとてもよかった」「アインシュタインの言葉を並び替えるは、生徒から好評で、その後も委員会活動等で応用している。少し形を変えることで様々な場面に応用でき、手応えを感じている」等の感想が聞かれた。

演習（アクティビティ）について

- ・ 「パスデー・チェーン」は、非言語のコミュニケーションであり、慣れていない面もあったが、普段と違った交流の仕方に新鮮味があった。
- ・ 「ネーム・トス」は、7～8人のグループで行い、テニスボールを使用した。新しいクラスの友達と名前を呼び合うことにより打ち解けた雰囲気が見られた。
- ・ 「サインをもらおう」では、先に行った「ネームトス」で緊張感もほぐれ、活発に自己紹介する生徒の姿が見られた。
- ・ 「アインシュタインの言葉を並び替える」は、担任の願いを書いたカードをパズル感覚で並び替え、完成させることに興味を持ち、大変意欲的に活動していた。担任によっては生徒に一枚ずつカードを持たせ、生徒自身が動きながら言葉を完成させるという工夫も見られた。

その他

- ・ 直接協力校では、学年6クラスが一堂に会し、教師のリーダーが全体的な説明を行い、各演習はクラス単位で行うというスタイルで学級（学年）開きを実施した。移動等時間的な問題もあったが、同一時間・場所に置いて実施できたことは成果として挙げられた。設定時間は60分程度が適切であったという反省があった。

8 関連プログラム・参考文献等

参考文献

- ・ 「プロジェクトアドベンチャーの実践 対立がちからに グループづくりに生かせる体験学習のすすめ」ウィリアム・J・クレイドラー、リサ・ファーロン著 プロジェクトアドベンチャー・ジャパン訳（みくに出版）
- ・ 「新しい体験学習1 楽しみながら信頼関係を築くゲーム集」高久啓吾著（学事出版）

サインをもらおう

2年 組 番 氏名

相手の名前	呼ばれたい呼び方	趣味・特技など	相手のサイン
1	君 さん		
2	君 さん		
3	君 さん		
4	君 さん		
5	君 さん		
6	君 さん		
7	君 さん		
8	君 さん		
9	君 さん		
10	君 さん		
11	君 さん		
12	君 さん		
13	君 さん		
14	君 さん		
15	君 さん		
16	君 さん		
17	君 さん		
18	君 さん		
19	君 さん		
20	君 さん		

授業「学級開き」

振り返りカード

2年 組 番 氏名 _____

- 1 今日の授業（活動）を振り返っての感想を教えてください。
（今の自分の気持ちに一番近いものを一つ選び、数字を で囲んでください。）

「学級開き」

その通り ほぼ
 その通り あまりその
 通りではない その通り
 ではない

今日の活動は楽しかった。

4	3	2	1
---	---	---	---

積極的に自己紹介をすることができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

ワークシートにたくさんの人からサイン
をもらうことができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

「こんな学級をつくりたい」という担任
の先生の思いや願いが分かった。

4	3	2	1
---	---	---	---

自分の中にも「こんな学級にしたい」と
いう思いが芽生えてきた。

4	3	2	1
---	---	---	---

- 2 今日の授業（活動）全体を振り返って、感じたことや考えたことを自由に書いてください。